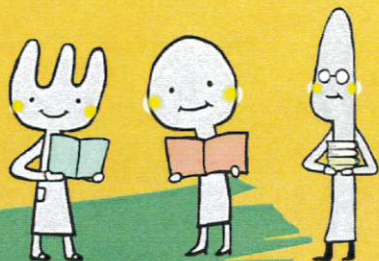


2025 AUTUMN



おすすめの絵本



燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内いたします



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧Twitter)



電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

お問合せ 燕図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-91-3255

0さい～2さい向け

『おやすみなさい おつきさま』

マーガレット・ワイズ・ブラウン//さく
クレメント・ハード//え せた ていじ//やく
評論社



眠りにつく前、ベッドの中からさまざまなものに「おやすみ」と語りかけるうさぎのぼうや。だんだん暗くなっていく部屋の中、ついにランプの明かりが消えると、たちまち心地よい眠りの中へ。身近なものへ「おやすみ」と繰り返すたびに優しい気持ちが広がって、満たされた一日の終わりを迎えられるそうです。



『ゆらしてゆらして』

accototo//作、絵 PHP 研究所

積まれた真っ赤なりんごや、ぶるぶるのぷりん。本を揺らすと…何が始まるかな？ 実際に本を揺らして楽しめる、体験型の絵本。「ごろりんご」や「ちゃっぷんこ」などの擬音も耳に心地よく、何度も繰り返し読みたくなってしまいます。お子さんと一緒にゆらゆら揺れながら楽しむのも素敵ですね。



『おさんぽ』

アレクサンドラ・ブランボール=ルトコフスカ//作
バヴェウ・ミルドナー//絵 ワールドライブラリー

秋はお散歩するのにぴったりの季節。外へ出かけるのはもちろん、絵本の中をお散歩してみるのもいいですね。大人にとっては見慣れた景色も、赤ちゃんにとっては、新しい刺激や発見の連続です。赤ちゃんの五感にまっすぐ届く、カラフルでシンプルな絵と心地よい言葉たちを、ぜひ楽しんでみて下さい。

3さい~5さい向け

『どうぶつたちの あきのおたのしみって?』

アン・ウィットフォード・ポール//ぶん
デイヴィッド・ウォーカー//え 福本 友美子//やく
岩崎書店



「秋のお楽しみ」と聞いて、思いうかべるものは何でしょう? 動物たちのお楽しみは、どんぐり、ブルーベリー、クローバーのお茶…! 秋にはごちそうがいっぱい。秋の涼しい風を感じながら、持ち寄ったごちそうを広げて、みんなで過ごす時間は格別です。動物たちと一緒に、秋の味覚を味わってみませんか。

『ぱったんして』

松田 奈那子//作 KADOKAWA



紙の半分に絵の具を塗って、ぱったんと折ってみて。そっと開くと、何が見えるかな? 点が花になったり動物になったり…。ぱったんすると、まるで魔法にかかったかのように色鮮やかな新しい景色が広がります。お絵かき遊びの解説もついているので、お父さんと一緒にアートを楽しむきっかけにぴったりです。

『はなまるうんこ こまったうんこ』

ショーン・ハリス//さく 聞かせ屋。けいたろう//やく
イマジネーション・プラス



部屋に落ちている「こまったうんこ」は誰のうんこ? テンポのいい言葉が並んでいて、何度も繰り返す声に出して読みたいくなっちゃう絵本。カラフルで、表情豊かな絵も魅力的です。人間も動物も、それぞれの場所でうんこができれば、はなまるなんですって。みんな上手に「はなまるうんこ」ができるでしょうか。

おうちのかた向け



『ポケモンのしま』

ザ・キャビンカンパニー//作、絵 小学館

ポケモンの島にやって来た男の子と、そこで出会ったポケモンたちの物語。鮮やかな色彩で描かれた草花、生き物、そしてポケモンたちは、まるで子どものころ見ていた日々の景色のようです。楽しくて、少し切なくて、でも嬉しくて…。この絵本を開くたび、「あの頃」の自分に出会える、そんな気がします。



『ぼなしくん』

柴田 ケイコ//作、絵 PHP研究所

いつも置きっぱなし、出しっぱなし、散らかしっぱなしの「ぼなしくん」。お母さんが叱ってもおかまいなし。そんなぼなしくんの元にやってきたのは…？ つい片づけを後回しにしてしまった経験は、大人にもあるはず。片づけが苦手なお子さんだけでなく、ちょっとズボラな大人にも響くユーモアたっぷりの絵本。



『だいすきっていいたくて』

カール・ノラック//ぶん クロード・K・デュボワ//え
河野 万里子//やく ほるぷ出版

ほっぺたいっぱいにつまった「すてきなことば」を誰かにプレゼントしたい、ハムスターのロラ。「すてきなことば」が、ついにロラの口からあふれ出すとき、そこにはしあわせな時間が流れます。子どもに愛情を伝えることはもちろん、子どもからの愛情を受け止めるひとときも、大切にしたいですね。